

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501013

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	4 メンタルヘルス対策の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	精神障がい者・家族等支援事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	個別相談件数		#N/A	
事業目標	10%の増	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 精神障害者への理解及び活動への協力支援	関係例規・法令名	2 ⇒	
		関係個別計画名	1 障害者計画	

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	精神障害当事者及び家族等の地域生活・社会参加への支援をとおして住み慣れた地域での生活の継続と生活の質の向上を図る。	・精神障害当事者・家族、障害児を育てる親の会等活動への支援 ・保健師等の個別相談への対応 ・福祉ボランティアの育成・支援 ・身体・知的障害団体との交流事業等への支援	・精神障害当事者・家族、障害児を育てる親の会等活動への支援 ・保健師等の個別相談への対応 ・福祉ボランティアの育成・支援 ・身体・知的障害団体との交流事業等への支援	・精神障害当事者・家族、障害児を育てる親の会等活動への支援 ・保健師等の個別相談への対応 ・福祉ボランティアの育成・支援 ・知的障害団体等との交流事業等への支援	・精神障害当事者・家族、障害児を育てる親の会等活動への支援 ・保健師等の個別相談への対応 ・福祉ボランティアの育成・支援 ・身体・知的障害団体等との交流事業等への支援	・精神障害当事者・家族、障害児を育てる親の会等活動への支援 ・保健師等の個別相談への対応 ・福祉ボランティアの育成・支援 ・身体・知的障害団体との交流事業等への支援
計 画 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)  【評価・実績】	(実施内容等) 精神障害者家族会・回復者クラブ等の運営支援 年32回161名  ※前年度評価結果	(実施内容等) 精神障害者家族会・回復者クラブ等の運営支援 年38回141人 精神保健に関する訪問・電話等個別相談件数 224件  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 精神障害者家族会・回復者クラブ等の運営支援 年42回118人 精神保健に関する訪問・電話等個別相談件数 259件  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 精神障害者家族会・回復者クラブ等の運営支援 年48回125人 精神保健に関する訪問・電話等個別相談件数 157件  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 精神障害者家族会・回復者クラブ等の運営支援 年78回207人 精神保健に関する訪問・電話等個別相談件数 123件  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値 個別相談件数の増	年度目標値 個別相談件数の増	年度目標値 個別相談件数の増	年度目標値 個別相談件数の増	年度目標値 個別相談件数の増
		年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!
		全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!
		事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆

事業名	精神障がい者・家族等支援事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	精神障がい者、家族等関係者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	精神障がいに関する相談件数		
【抱える課題やニーズは】	精神障がいを抱えながら地域で安定した健康的な生活を送ることができる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病状が安定し障がい者自身の能力を活用して充実した地域生活を送ることができる		① 精神障がい全般に関する相談件数の増(平成23年度実績282件)	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	精神障がいを抱えていても健康的で充実した地域生活を送る障がい者が増える			目標値	282件
			実績値	330件	
			達成度	117.0%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	精神障がい者回復者クラブ、精神障がい者家族会運営支援	旧地域包括支援センターを活動拠点とした活動の安定・強化に向けて、精神障がい者回復者クラブ、家族会活動の運営支援を行った。			
	個別相談	家庭訪問、電話などによる個別相談支援を行った。			
	当事者活動連携支援	町内の障がい者団体等や町外地域活動支援センター等との交流支援を行った。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	精神保健福祉に関する一般的な相談支援は身近な市町村で実施する義務があり、保健係の他、社会福祉係、地域包括支援センター他、保健所等の専門機関との連携のもと支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	旧地域包括支援センターでの回復者クラブ活動支援の実績が大きく伸びており目標を達成する事ができた。また、障害者総合支援法に基づく相談支援体制の強化等の大きな課題もあり今後も関係者間で協議のうえ、事業の方向性の整理が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 下回る	
/課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	事業経費の負担はなく、支援に要する人員も必要最低限として効率化を図ることができた。また、地域活動支援センターや町外専門機関等との連携のもと、障がい者の地域生活の推進を図る必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> その他	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	回復者クラブ等団体活動は主に受益者負担により運営されており公平性を保つことができた。また、自主的活動団体ではあるが、地域生活を継続する上で情報共有や活動支援等の一定の支援は必要であると考えます。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> その他	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
会員数は減少しているが、活動拠点における活動の拡大と他の団体との共同事業の開催など連携を進めながら事業を進めることができた。		



継続/統合		
精神障がい者・家族等への支援は他の障がい者支援施策での実施や心の健康づくり関連施策と統合した中で事業を継続する。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止